

## 当事者参画と専門職の協働で変わる宮崎国体施設

永山 昌彦 特定非営利活動法人 障害者自立応援センター YAH! DO みやざき 理事

### 1. はじめに

東京オリンピックの会場である国立競技場は、基本設計から実施設計、施工に至るまで、21回の「UDワークショップ」を行い、障害当事者の意見を施設整備に反映させました。

宮崎県においても2018年に「国民体育大会・全国障害者スポーツ大会」を2026年（その後2027年に変更）開催し、「陸上競技場」は都城市山之口町、「体育館」は延岡市、「プール」は宮崎市に、UDで新設することを公表しています。

そこで、当会と宮崎県建築士会は、「UDのためには障害当事者の意見反映が必要」との協議に基づいて、2020年6月に、宮崎県国民スポーツ大会準備室に対して「国体施設の設計は、国立競技場のように『UDワークショップ』を行えないか」相談しましたが、「費用を見込んでいない。」と断られました。

### 2. 宮崎県と協議するまで

そこで、当会と宮崎県建築士会は、2020年に（公財）宮崎県建設技術推進機構の助成金を活用して以下を行いました。

#### (1) 既存体育施設のUDを考えるワークショップ

2020年11月5日に、当会と宮崎県視覚障害者福祉協会、宮崎県聴覚障害者協会、宮崎県手をつなぐ育成会、宮崎県建築士会そして宮崎県担当課職員の参加を得て、宮崎市生目の杜運動公園の体育施設の点検調査を行いました。

#### (2) 公開オンラインセミナー

2021年2月13日には、オンラインセミナーを行い、東洋大学名誉教授の高橋儀平氏から国立競技場の「UDワークショップ」の成果を聞いた後に、11月5日に参加した障害者や建築士から「陸上競技場や体育館は、宮崎市福祉のまちづくり条例適合施設だが、バリアフリーが不十分であり、施設整備には障害当事者の意見反映が必要である。」とまとめました。

### 3. 宮崎県との設計協議

「公開オンラインセミナー」の参加団体では、宮崎県に対して国体施設の設計説明会を開くように要望しました。そして、宮崎県とのやりとりは以下のように行っています。

#### (1) 陸上競技場、体育館の設計説明会

宮崎県は2021年7月26日に、当会、宮崎県視覚障害者福祉協会、宮崎県聴覚障害者協会、宮崎県手をつなぐ育成会、宮崎県身体障害者団体連合会及び宮崎県建築士会（以下、「6団体」）に、「陸上競技場」と「体育館」の設計説明会を行い

表1 宮崎県国体3施設に対する意見の概要

箇所等	意見	
敷地内通路	・歩車道分離してください。	
インターホン	・聴覚障害者も使えるモニター式としてください。	
障害者駐車場	・全駐車台数の1/50以上の駐車台数を確保し、駐車場と出入口至る経路に屋根を設置してください。	
事務室受付	・行事緊急を知らせる電光掲示板を設けてください。	
エレベーター	・24人乗り以上として、台数も増やしてください。インターホンはモニター式としてください。	
施設共通事項	トイレ	・多目的トイレは、利用者が集中する為、一般のトイレでも、簡易型車いす用便所を設置し、その個数を増やしてください。 ・異性介助、家庭等による介助、性的マイノリティ等の多様な利用者に配慮してください。 ・視覚障害者にとって、男女別音声案内、設置位置の統一、レイアウト規格統一が必要です。 ・視覚障害者にとって、災害、緊急を知らせるフラッシュランプ（警報装置）が必要です。
	観客席	・車いす席の総数は、総席数の0.75%以上を確保し、同伴者用の座席を横に確保してください。 ・車いす席のサイトラインを確保してください。
	案内表示	・案内表示は、ピクトグラムやひらがな等を表示として、大きめの表示で壁や床等に表示してください。
	避難計画	・観客席から2方向避難を確保してください。 ・聴覚障害者や視覚障害者に対する火災報知や避難誘導の配慮をしてください。
その他	・発作やパニックに対応する「カムダウン・クールダウン」の部屋を設けてください。 ・盲導犬や介助犬のトイレを設置してください。 ・車いす観覧席には充電設備を設けてください。 ・観覧席に集団補聴装置を設けてください。	
	施設別事項	陸上競技場
	体育館	・2階車いす観覧席の手すり高1.1mは車いすの目線の高さです。サインライトを確保してください。
	プール	・車いす観覧席は2階にあり、避難について階段がなく安全の措置が必要です。

ました。両施設とも実施設計を終了しています。6団体の意見（表1）は、8月23日に宮崎県へ提出し回答を求めました。

#### (2) プールの設計説明会

宮崎県は、2021年10月14日に6団体に「プール」（実施設計中）の設計説明会を行い、意見（表1）を聞きました。

#### (3) 国体施設整備に関する意見交換会

宮崎県は、2023年3月8日に6団体と以下を行いました。

##### ①意見に対する回答（概要）

- ・3施設ともトイレブースにフラッシュランプを設置
- ・3施設とも車いす観客席にコンセントを設置
- ・陸上競技場側面の傾斜路は、勾配1/12から1/15に変更
- ・プールのエレベーター15人乗1台を24人乗に変更

##### ②誘導ブロック、案内表示、トイレについての意見

宮崎県は、宮崎県防災庁舎の誘導ブロック、案内表示及びトイレを国体施設に見立てて、意見を聞いています。

### 4. まとめ

上記の会議以外にも、当会と建築士会では個別に県や都城市との協議を重ねてきました。当初、宮崎県の担当者は、施設について、バリアフリー法の整備基準を満たせば十分と考えていたと思われるが、国土交通省の建築設計標準改定などの障害当事者参画推進の動きが今回の施設協議につながったと考えます。

また、建築士会が加わったことで、代替案の提示や専門用語への対応など大きな力添えとなりました。彼らの力添えがなければ、意見を述べるだけで終わっていたと思います。